

ふれあいの発進



春の中庭

二階廊下より



今年8年目を迎えるなんぐん館。私も訪問看護ステーションはじめ、居宅介護支援事業所で経験を積み、昨年から母体である療養部及び支援相談部を担当している。これまで在宅中心で学んだことを生かしながら、施設がどうあるべきかを再確認している。昨年は新主任を任命し、体制基盤を整えた。今年は一つひとつの業務内容（ケア、相談、計画等）の意義を深め、より充実した取り組みを考えている。

ここで、なんぐん館が取り入れている研修についてお話ししたい。一つは、経営労務総合研究所による「役割意識」「人材育成」等。もう一つは、CPI危機予防研究所による「非暴力的危機介入法」。

これは自前のインストラクターにより、危機的状況に発展しない関わり方を学ぶものである。学校や精神科で導入されている中、老人施設では、当館が初めてということであり、介護の場面でのコミュニケーションの大切さを重く考えている。今後のなんぐん館が、地域の皆様に末永く愛されるために、職員一同力を合わせて励む所存である。



療養部・支援相談部
部門長 岡原 美幸

今年度の抱負

研修紹介

なんぐん館ではサービスの質の向上を目指して、職員研修を実施しています。その研修風景を紹介いたします。

【一般研修】経営労務総合研究所より、講師（高原千鶴子先生）をお招きし、毎月研修を行っています。この研修では職員の人材育成（接遇など）組織（役割意識など）について、学んでいます。



はい
なんぐん館で
ございます



私、〇〇と
申しますが...

◆電話対応の研修◆



【CPI研修】CPI危機予防研究所による「非暴力的危機介入法」を当館の職員が講習を受け、インストラクターとして講義を行い、利用者との関係において、危機的な状況に発展しない関わり方を学んでいます。



◆講義風景
講師も受講者も真剣です



◆エクセサイズの様子
両者にとってより
安全な介入の方法

編集後記



少しずつ暖かくなってきましたが、今年は、例年に比べてインフルエンザの流行が少し遅いようです。施設内感染の予防のためにも、風邪気味の方はご面会を控えていただくよう、宜しくお願いいたします。感染予防のために、うがいと手洗いを行ってください。

春が近づき、別れの季節と出会う季節がやってきます。学生の頃は季節ごとにいろいろな出会いや別れがありましたが、社会に出るとその機会が少し減ったように思います。新しい出会いも別れも大切にしていきたいものです。



社団法人 南宇和郡医師会
老人保健施設
なんぐん館
南宇和郡愛南町御荘深泥703-2
TEL (0895) 73-1021
発行責任者 施設長 兼吉 章